

京丹波町社協だより

本誌は共同募金の配分金によって作られています。



ほほえみ

平成27年
9月号
No.33



町に愛を。胸に羽根を。



Photo by 広瀬 誠(角)

表紙：赤い羽根共同募金活動
(昨年度わちふれあい祭りの様子)

もくじ

- 会長就任の挨拶…………… 2
- 新役員・新評議員紹介…… 3
- 平成26年度事業報告・決算報告… 4
- 赤い羽根共同募金のお願い… 6
- 福祉体験学習…………… 8
- 福祉まつり開催のお知らせ… 9
- 作業所NEWS…………… 10
- ファミリー・サポート・センターよりお知らせ… 11
- 寄付お礼…………… 12

じよんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金とは？

赤い羽根共同募金は、高齢者、障がい者、子どもたちなどへの、地域の福祉活動を支援する募金です。災害時には「災害ボランティアセンター」の設置や運営など、被災地支援にも役立っています。

平成27年度共同募金運動が10月1日(木)から12月31日(木)まで全国一斉に始まります。今年も皆さんのあたたかいお志をお寄せくださいますよう、どうぞよろしくお願いたします。

福祉の充実を目指して

社協合併10周年を迎え

多様化する福祉ニーズに対応できるよう
組織を整備し福祉の充実を目指します。

この度、京丹波町社会福祉協議会の理事会において会長に再任され就任することになりました。

ますますの社会・経済環境の激変、局所的な集中豪雨や、超大型スーパー台風の来襲、また、今年には新型ノロウイルスが大流行の兆候があるといわれ、私たちを取り巻く環境は、ますます悪化の状況にあります。特に高齢者、障がい者等の福祉

課題を持っておられる方、社会的に孤立し、人間関係の希薄な生活を送っておられる方、さらには、家族形態も小規模家族の形態が多く、個々のライフスタイルを中心にそれぞれの価値観に基づいて物事を選択する傾向が強まっています。

本会は、福祉サービス提供主体の中心的役割を担う事は勿論のこと、制度の狭間にある諸問題に

きめ細かく対応し、今年には社協合併10周年の節目でもあり、多様化する福祉ニーズに対応できる様

組織整備を図り、ただ漫然と過ごすことなく、地域における福祉の充実に発展に微力ながら尽くして参りたいと思えます。また、昨年の8月に町と締結した協定書に基づく災害ボランティアセンターの開設と平時の備えの充実、今後ますます来襲

するであろう災害に備えられるよう努めてまいります。

行政、関係諸機関、民生児童委員協議会等との情報の交換・連携を強め、地域の住民の皆様、行政関係各位の格段のご協力を切にお願いし、益々のご健康、ご多幸をご祈念申し上げます。ご挨拶と



京丹波町社会福祉協議会
会長 波瀬 孝澄

平成27年度 社協理事・評議員 新体制のご紹介

◇ 理 事 (敬称略・順不同)

氏 名	選出区分
◎波瀬 孝澄	学識経験者
○谷垣 勇	学識経験者
○正田 恭丈	学識経験者
田中 強	民生児童委員協議会
石田 美恵	民生児童委員協議会
竹内 繁夫	民生児童委員協議会
伊藤 嘉信	区長会
岡本 勇	老人クラブ連合会
竹内 裕子	女性の会
一谷 静夫	福祉団体・機関
江本 正昭	福祉事業団体
向井 章代	ボランティア代表
下伊豆かおり	町行政

◎会長 ○副会長

◇ 監 事

氏 名	選出区分
小畑 圭一	税理士
榎本 藤雄	行政書士

◇ 評 議 員 (敬称略・順不同)

氏 名	選出区分	氏 名	選出区分
松田 昌弘	新水戸区	山内 勇	町老連
湊 嘉秀	須知区	谷 峰男	町老連
小森 清司	実勢区	山下 典子	女性の会
上田 正	鎌谷奥	坂本美智代	女性の会
竹内 学	栗野区	坂本 博	身障福祉会
梅原 和弘	市場区	山下 立男	身障福祉会
隅山 卓夫	本庄区	尾上 正紀	福祉事業団体
野間 勝	小畑区	井上 和重	福祉事業団体
山本 和之	民児協	山本 英夫	福祉事業団体
太田志げみ	民児協	森田 悦子	ボランティア代表
松野美代子	民児協	三野 秀美	ボランティア代表
阪内 敏明	民児協	水嶋 真弓	ボランティア代表
春田 貢	民児協	今川 博子	ボランティア代表
原田 芳子	民児協		

地域で暮らす全ての住民が 安心して暮らせる町づくりのために。

京丹波町社会福祉協議会では、5月28日（木）評議員会を開催し、平成26年度事業報告ならびに資金収支決算の承認をいただきました。

26年度は、近年の異常気象等により続く災害対策として、京丹波町との「災害におけるボランティア活動等に関する協定」締結や、防災の町民講座、災害ボラセン運営支援ボランティア養成講座の開催など、災害時にも住民が安心して暮らせるまちづくりに向けた様々な事業を展開しました。

災害支援活動



昨年8月に町と「災害におけるボランティア活動等に関する協定」を締結しました。町内で災害時に大きな被害が出た場合、災害ボランティアセンターを設置します。



いつ起こるか分からない災害に備え、住民のみなさんに防災意識を高めていただくため「災害ボランティアセンター町民講座」を開催しました。

障害者共同 作業所の運営



障がいのある人に働く喜びや楽しみながら参加できる活動を提供するために共同作業所を運営しており、26年度末で46名の方に利用いただいています。

介護保険サービス (訪問入浴介護事業)



自宅での入浴が困難な方へ寝たままでも入浴ができるよう、訪問入浴車で訪問を行っています。
26年度末の利用者は、のべ44名でした。

地域福祉の推進



地域のふれあいいきいきサロン活動の振興に取り組んでいます。京丹波町内には67地区でサロングループが活動されており、社協では活動に役立つ研修会や交流会の開催などを行いました。

ファミリー・サポート・センター



平成26年度の活動数は、295件でした。地域の中で子育てを応援するファミサポでは、保育施設から自宅への送迎が主な活動でした。

その他にも…

○社会福祉体験学習事業

高校生・中学生を対象に、町内の福祉施設での体験を通じて、福祉を学ぶ青少年の育成を目指して取り組みました。

○食の自立支援事業 (配食サービス)

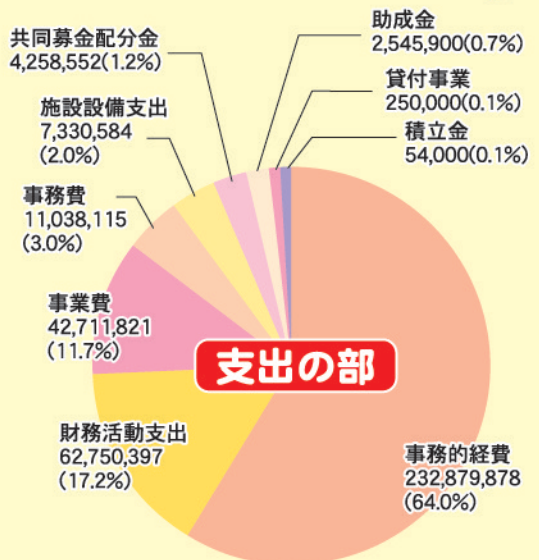
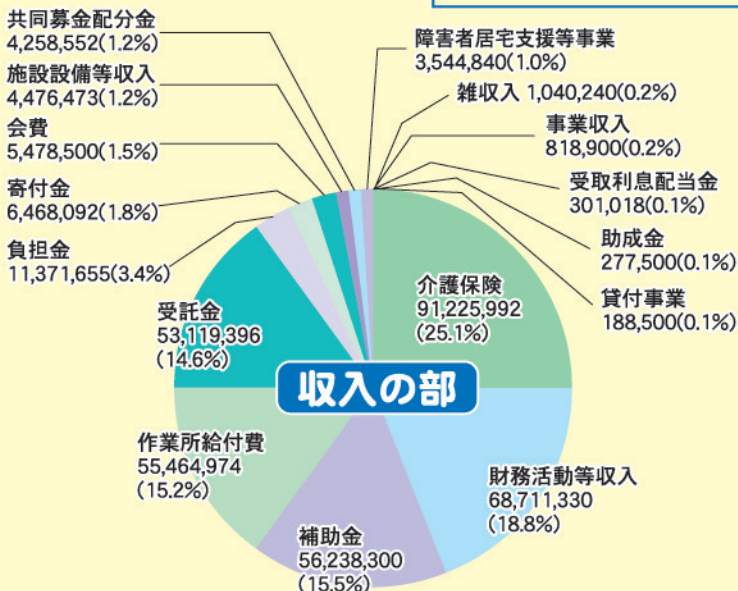
調理の困難な方へ、夕食のお弁当をお届けする事業です。26年度には、のべ656人、12,414食のお弁当をお届けしました。

福祉サービス利用援助事業



認知症や物忘れ、また障がいがあって福祉サービスを利用するのに一人では不安な方を対象に、様々な手続きや金銭管理を行う事業で、多様な生活課題を抱えた利用者への対応を行いました。

平成26年度 京丹波町社会福祉協議会 決算



平成26年 京丹波町の募金額

赤い羽根共同募金

3,143,436円

戸別募金	3,007,130円	法人募金	3,000円
イベント募金	37,640円	街頭募金	15,778円
窓口・職域	79,888円		

歳末たすけあい募金

2,042,258円

戸別募金	1,992,258円	法人募金	50,000円
------	------------	------	---------

合計 5,185,694円

赤い羽根 共同募金

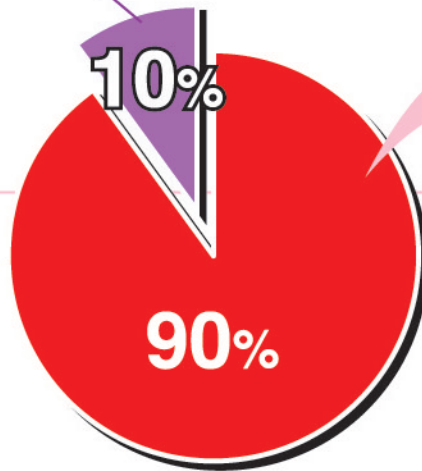
あなたの募金は、あなたの町へ
今年もはじまります

京丹波

10月1日～12月31日
ご協力よろしくお願ひします

京都府全体の
福祉事業のために

(府下の施設・団体等に配分)



福祉まつりの開催



福祉教育として世代間交流



広報ほほえみの発行



防水シート配布事業



一人暮らし高齢者交流事業

赤い羽根共同募金

10月1日(木)～12月31日(木) www.akaihane.or.jp





平成27年度

じぶんの町を良くする活動助成

町民のみならずから寄せいただいた赤い羽根共同募金を活用し、地域の課題解決や住みよい町づくりのために、住民主体で取り組むさまざまな地域福祉活動を応援する助成事業を実施します。

- ◆**対象活動** 平成27年4月1日～平成28年3月18日に実施する以下の活動
①見守り活動 ②支え合い活動 ③居場所づくり
④地域防災活動 ⑤地域振興活動
- ◆**申請締切** 平成27年10月19日（月）まで
- ◆**申請方法** 所定の申請用紙に必要事項を記入し必要書類を添付のうえ、最寄りの社協各支所へ提出してください。
※申請用紙は社協各支所窓口及び京丹波町社協ホームページで入手できます。
- ◆**助成額** 1団体 上限5万円（助成件数により金額を調整することがあります。）
- ◆**審査決定** 書類審査とヒアリングを行い交付決定します。

【お問い合わせ先】 京丹波町社会福祉協議会各支所まで



赤い羽根募金による 夏期見舞事業の廃止について

例年、皆さまからお寄せ頂いた赤い羽根共同募金の一部を、支援や激励を必要とする方へ夏期見舞金・激励金として個人給付してまいりました。

しかし地域の福祉課題が多様化する昨今、新たな福祉ニーズに対応していくことが共同募金に求められています。

そのような中、今年度から特定の方々に金品を贈呈する夏期見舞事業を廃止し、地域で集めたお金を地域福祉活動に活用する『地域循環型』の募金へと見直しをさせていただきました。

今後は見守りや支え合いの活動など住民主体の地域福祉活動を支援していきたいと考えておりますのでご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。

※歳末たすけあい募金の冬期見舞金については引き続き実施を予定しています。

募金ができる

自動販売機を設置しました

丹波自然運動公園内こどもの広場（曾根）と総合設計正田建築事務所前（篠原）に、募金機能付き自動販売機が設置されました。飲料メーカーと設置者の協力により、売り上げの一部が京丹波町赤い羽根共同募金に寄付され、町内の地域福祉活動に活用されます。



丹波自然運動公園での除幕式(平成27年9月7日)

高校生・中学生対象の

社会福祉体験学習

を実施しました！

本年度も夏休みを利用して、高校生・中学生を対象に社会福祉体験学習を実施しました。

参加いただいた生徒のみなさんは、学校生活とは違った緊張感を持ちながら3日間を過ごし、小さな子どもたちや高齢者とのふれあいを通してたくさんの貴重な体験をしました。

受け入れていただいた事業所の方からは、体験だけでなく社会人として大切なことも伝えていただきました。



今年度は、7名の生徒が
体験を行いました！

【みずほ保育所コース】中学生3名

8月3日(月)～5日(水)

【瑞穂山彦苑コース】中学生1名

8月5日(水)～7日(金)

【上豊田保育所コース】高校生1名、中学生2名

8月4日(火)～6日(木)



この体験が参加者の将来や
生活の中で活かされることを
願っています！
来年度も開催する予定ですので、
みなさんぜひご参加ください！

第4回福祉まつり を開催します！

京丹波町社協の事業や町内ボランティア活動を広く町民の皆さんに知っていただき福祉を身近に感じていただくため、今年度も『福祉まつり』を開催します！

- 日時 平成27年11月1日(日)
10:00~15:00
- 場所 山村開発センターみづほ

講演会 「つなごろう地域」～共に支え合う社会へ～

たがわ まさのり

講師 田川 雅規 氏 あそびの工房もくもく屋(大阪府)



屋内会場

- ・ボランティア功労者表彰
- ・ボランティア活動発表
- ・京丹波町社協活動展示
- ・ボランティア活動展示
- ・京丹波町保健福祉課による健康増進コーナー
(骨密度、血管年齢、血圧の測定)
- ・くるみの会試食コーナー
- ・キッズコーナー
- ・記念講演

子どもから大人まで楽しめる
イベントです。
みなさんぜひご来場ください！



屋外会場

- ・クイズラリー (会場内外)
- ・京丹波町共同作業所の自主製品販売
- ・レクリエーションコーナー
- ・協力団体による模擬店
- ・防災コーナー (災害ボランティアセンター展示)

模擬店出店者募集

受付中！(先着10団体)

模擬店の販売は食べ物に限ります。
出店のお申し込みは社協各支所へ。

- 1ブース 1000円
- テント半分
240cm (正面) × 360cm

しあわせ川柳の募集

社協各支所にある応募用紙に、あなたが「しあわせ」と感じた瞬間を五・七・五で表現してください！

ご応募いただいた作品は、福祉まつり会場や社協だよりの紙面で発表します。応募用紙は社協各支所、またはホームページで入手できます。たくさんの応募をお待ちしています！

「味夢の里」で絶賛販売中!

平成27年7月18日にグランドオープンした道の駅『京丹波味夢の里』で、作業所の自主製品を販売しています。

今年の夏は大変な猛暑に見舞われましたが、仲間たちは暑さに負けず製品作りに励みました。お立ち寄りの際には、ぜひお買い求めください。



地域交流会に参加しました

平成27年7月30日、丹波、瑞穂、和知地域において、小学生、中学生、支援学校生、作業所仲間の交流会が開催されました。この交流会は障がいを持った人たちに対する理解を深めることを目的とし、共同作業所からも十数名参加しました。レクリエーションなどを楽しんだ仲間からは「来年も参加したい」との声が聞かれ、楽しい交流会となりました。



卓球バレー



反省発表会



輪と和が繋がりました

NEWS 共同作業所



京丹波町共同作業所では…
障がいを持つ方々が地域の一員として
自分らしい生活がおくれるよう、就労
訓練や生活能力向上のための援助を行
っています。

◆問い合わせ先◆

丹波本所 ☎82-2015
瑞穂支所 ☎88-5200
和知支所 ☎84-5005

京丹波町ファミリー・サポート・センターからのお知らせ

ファミリー・サポート・センターとは、育児の援助を希望する依頼会員と、援助をしてくれる提供会員の相互育児援助活動の会員組織です。

10月の「預かり保育ルーム」の案内

【開催日】

- ①10月16日(金) 10:00～15:00
- ②10月22日(木) 10:00～15:00

どちらも「瑞穂保健福祉センター」にて



上豊田・みずほ・わちエンジェルの子育て支援センターに毎月の案内チラシを設置しています。預かる理由は問いません。保護者の通院や歯科受診、美容院などのときは、ご利用下さい。申込み・詳細についてはファミサポセンター（☎86-1440）まで。

ファミサポ活動紹介



★依頼会員さんの声★

●子どもの習いごとへの送迎を依頼（週1回）

毎週一回小学生の長男を習字教室へ、長女をピアノ教室へ送ってもらっています。フルタイムで仕事をしており、子どもの習いごと送迎ができなくて困っていたので大変助かっています。

子どもたちにとって、実の祖父母が近くにはいないので、預かり会員さんは近くのおじいちゃん・おばあちゃんとして甘えさせてもらっていて私も嬉しく思っています。

こうしてファミサポでつながっていると、いざという時（下の子の受診や自分自身の受診、休日に短時間で仕事が入った時など）にもお願いできると思うと心強いです。

いつもお世話になり、ありがとうございます。今後ともよろしく願います！

◆提供会員さんの声◆

いつも楽しく活動しています。子ども達も良く慣れて、送りの時間中眠っていたりしますね。

運転に気をつけて安心して預けてもらえるようにと思っています。子どもたちの成長も楽しみです。

ありがとう



ファミサポ講習会について

平成27年度 第2回提供会員の講習会を下記の日程で行います。
12月1日(火) 12月8日(火) 両日とも9:00～16:00

善意のぞご寄付

ありがとうございます！

みなさまから寄せられた善意は、社会福祉事業に大切に使用させていただきます。

（平成二十七年六月一日～八月三十一日まで）

※前号の記載で、ご寄付いただいた方のお名前に誤りがありました。大変ご迷惑をおかけしましたことにお詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。

【一般寄付】

本所・瑞穂支所扱い

鎌谷下 細川 智則 様 亡父供養として

数字で見る 京丹波の福祉



平成27年9月1日現在 ※()内は前号(H27.3.31)との比較

	丹波	瑞穂	和知	町全体	
人口	7,610人 (-9)	4,498人 (-20)	3,222人 (-12)	15,330人 (-41)	
65歳以上人口	2,609人 (+19)	1,846人 (+21)	1,454人 (+7)	5,909人 (+47)	
高齢化率	34.3% (+0.3)	41.0% (+0.6)	45.1% (+0.4)	38.5% (+1.3)	
ボランティア登録者数	0~14歳	12 (±0)	0 (±0)	0 (±0)	12 (±0)
	15~64歳	91 (-5)	48 (+11)	49 (±0)	188 (+6)
	65歳以上	191 (+31)	105 (+18)	146 (±0)	442 (+49)
	合計	294 (+35)	153 (+37)	195 (±0)	642 (+71)

京丹波町災害ボランティアセンター

●『京丹波町消防防災フェスティバル(9/26(日)グリーンランドみずほにて)』で活動のPRを行いました。



資機材の展示や災害用非常食の試食体験などを通じて来場者へ災害ボラセン活動の紹介と平時からの備えの必要性について呼びかけました。